

寄合いメモ

と き：2005年5月6日（金）18:30～21:00（冷たい雨の中）

ところ：光が丘図書館

参加者：23人

話し合いの内容：

4/26 教育委員会の陳情不採択についての感想や意見

- ・ やっぱりやってきたか。
- ・ 闘いを挑んできた。
- ・ ここまで、住民と協力して積み上げてきた歴史を、力で踏み潰してきた。ことばに尽くせない恐ろしさを感じる。
- ・ 民主主義を分かっていない人たち。住民の要求で審議しているのに、陳情項目について検討もせず一括不採択。弁護士に相談して今後の対応の参考にしたい。
- ・ 30数年前からよりよい図書館をつくってきたのに、力で押し通してきた。これではいけないと、夜は参加できない状況にあるが、出かけて来た。はいそうですかとはいえない。なんとしても頑張っていきたい。
- ・ 教育委員会を長い間見てきたが、こんなものだ。大事だが、とんでもないところでもある。区の提案は変更しない。署名数は9,500余筆提出されているが、それが委員会の席上に報告されているか、確認を要す。議会で結論が出ないうちに教育委員会が決めていくのはおかしい。
- ・ 委員各個に見解を求められないか。
- ・ 孫娘とともに図書館にかかわってきた。負けずにやっていきたい。
- ・ 最初に委託ありきだと、ズシンと来た。どうしたらよいか分からないが、何もしないのはよくない。
- ・ あきれて、腹が立った。民主主義はなくなったのか。区長には逆らわない雰囲気は分かっていたが、委託案を検討もせず不採択するほどひどいとは……。陳情書の委託以外の項目に触れず一括不採択とは……。
- ・ 私自身の力が足りないな。保育園は10万の署名でも区の姿勢を変えさせていない。保育園署名はする人が図書館は「区の職員の態度が悪いので」と署名してくれず、広げるのが難しい。委託化した他区の図書館でマニュアルどおりの「ありがとうございます」をいわれていやな感じだ。この会も話が難しくついていけないなとお休みしていたが、今日は来た。
- ・ 怒りのひとこと。
- ・ 不採択通知を早くもらい、次の打つ手を考えたい。
- ・ 狐につままれた感じ。昨年の最終審議を傍聴した時に、委員からの質問に図書館長が答えられなかった問題があり、当然、それらのことが審議されると考えていた。
- ・ 教育委員会は委員が議論して決定する。前4回の審議も行っており、形式的には落ち度はない。不採択理由の説明を求める文書を出すべきだ。委員個々に見識を問うことは、答えがなくとも、やった方がよい。
- ・ 教育委員会事務局主導で進められたと推定、まともな議論ができなかったから、いわば、尻尾巻いて逃げたということ。
- ・ 委託案の出た段階でよい審議をしないと、昨年発言していたのに。
- ・ ひどいな。23区中多くの区が委託化していることをよりどころにしている。区民の意識に立っての検討姿勢ではない。

- ・練馬は労使関係から委託化が進んでなかった。労組の発言力低下もあり、淡々と進めていると感ずる。
- ・もう少しいい回答が得られるのかと期待していたが。中野区では運営の細かいことまで、図書館・職員・区民で協議してきた。そういうことができるのかどうか、知的財産を守るための動きを。
- ・職員のやりがいや、質的な問題も検討されると思っていたので、短時間の審議は意外でびっくりしている。

今後の展開

- ・区長は委託化に政治生命をかけているといわれる。強力であることを知っておこう。
- ・区民の支持を基にした運動を展開することを基本に。(区民に依拠する)
- ・区民に知らせ、区議会議員への影響力を強める。
 - ：文教児童青少年委員会：5月19日(木)、24日、教育委員会の失敗に学び実質審議の有無を前日確認しできるだけ傍聴を。
 - ：教育委員会の正式不採択通知を至急督促し、問題点を明らかにし、説明を求める。
 - ：陳情書補足説明書 No.2 を作成する。
 - ：その他、区法律相談なども活用して対応策を検討する。
 - ：労組との連携(交渉の場で問題点の明確化)(5月26日区職労決起集会、参加は労組員に制限)
- ・区の委託案の評価や問題点、業者選定委員会への住民代表・労組代表などの参加を求めるなど実を採る検討も併せて必要。
- ・担当(状況により、応援を依頼し強化する)
 - ：不採択通知発行督促など：関さん 丸谷さん
 - ：補足説明書 No.2：小西さん、中村さん
 - ：法律相談など：鈴木さん、伊藤

総会的寄合い

- ・とき：5月18日(水) 18:30～21:00
- ・ところ：光が丘図書館視聴覚室
- ・話し合い：会則の決定、今後の展開など。

(メモ作成：2005/05/09 伊藤 勝)